

令和4年度

文学部第3年次編入学者選抜学力試験問題

現代国語

注 意

1. 解答は、別冊の解答用紙の所定の解答欄に書くこと。
2. 総ページ数 — 7ページ
問題ページ — 第2～第3ページ, 第5～第7ページ
(第1ページ, 第4ページは白紙)
3. 試験終了後, この冊子は持ち帰ること。

I つぎの文章は、一八九五年に刊行されたギュスターヴ・ル・ボン著『群衆心理』の日本語訳の一節である。これについて、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(櫻井成夫訳による)

注 ○カルデア—ペルシア湾沿岸にあった古国。

○一世紀前にヨーロッパ全土が騒乱の巷と化した—フランス革命とそれに続くナポレオン戦争のこと。

問一 傍線部 a、d を漢字に改めよ。

問二 傍線部 1 「われわれの夢の所産であるこの幻想が、諸民族にかつて壮麗な芸術と偉大な文明とをもたらすあらゆるものを創造せしめた」とはどういうことか、わかりやすく説明せよ。

問三 文章中には、傍線部 2 「人間の弱さに対して峻厳で、憐憫を知らぬ盲目的な自然力」を別の言い方で表した語句がある。それを記せ。

問四 二重傍線部 A 「民衆」、B 「群衆」の原語はともに *foi* (大衆、群衆) である。日本語訳者はどのような意図から、原語を「民衆」と「群衆」とに訳し分けたと考えられるか、当該文脈における両者の相違を指摘しつつ、説明せよ。

問五 著者のいう「幻想」を現代日本に置き換えると、例えばどのような概念や思想がそれに相当すると考えられるか。相当する概念や思想が「幻想」であると考えられる理由もあわせて論ぜよ。

(このページは白紙です。)

II つぎの文章を読んで後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

注 ○蘭鑄——金魚の一品種。背びれがなくずんぐりして、頭部にこぶがある。

(岡本かの子「金魚撩乱」による)

- 問一 傍線部ア、オの漢字の読みをひらがなで記せ。
- 問二 傍線部1の「あわてる割には、かのゆかない体の動作」とはどういう動きをいうか、説明せよ。
- 問三 傍線部2について、宗十郎のこうした態度はどのような意識の表れか、説明せよ。
- 問四 傍線部3について、復一はどのようにしてこのような態度をとったと考えられるか、説明せよ。
- 問五 傍線部4について、復一のどのような心情を表しているか、説明せよ。
- 問六 傍線部5について、「恥辱で顔を充血させた」復一のこの時の心情について、説明せよ。